

いまみや小中一貫校の良いところ、良くないところ

「いまみや小中一貫校の良いところは何ですか？」と聞かれたらどのように答えますか？少し考えてみてください。「交通の便が良い」「グラウンドが広い」「児童生徒が落ち着いている」「児童生徒が優しい」など、いろいろ答えはあります。校長先生はそう聞かれるといつも「小学校と中学校が協力していること」と答えます。難しい言葉でいうと「小中連携が良く出来ている」ということになります。いまスポでの縦割り競技、先日行われた小中合同プール授業、中学生による小学生への読み聞かせ等、本校には小中が協力した活動がたくさんあります。中学校の先生が小学校の授業をたくさんしていることも他の学校で見ることが出来ない本校の特長です。言い換えれば、中学生にとっては弟や妹が沢山おり、小学生にとってはお兄さんお姉さんが沢山いる学校だといえます。中学生は小学生と接することで、先輩としての自覚や優しさが培われると思いますし、小学生は中学生と接することで、成長していく目標が見つかり、早い自立につながると考えています。金曜日には小中合同の保健だよりも発行されました。このように先生たちも「小学校と中学校が協力すること」をどんどん進めていこうと思いますので、皆さんも先輩後輩仲良くしてくださいね。

逆に「いまみや小中一貫校の良くないところは何ですか？」と聞かれたら校長先生はいつも「元気な挨拶が少ないところ」と答えます。毎朝通用門に立って登校する皆さんに「おはよう」とあいさつしますが、気持ちよく大きな声で「おはようございます！」と言ってくれる人がいる一方、下を向いたまま何も返してくれない人もいます。あいさつは人と人をつなぐ最初の入口となります。それが出来ない人はやはり周りからの印象も悪くなってしまいます。全員がきちんとあいさつが出来るいまみや小中一貫校の児童生徒になってほしいです。

これで校長先生のお話を終わります。